

オールスキット

洗浄マニュアル

No.	洗浄場所	洗浄例写真等	推奨 使用倍率	推奨 漬け置き時間	推奨使用製品 注意事項
1	ステンレスシンクの 洗浄		汚れが酷い場合 原液	20分～40分	・スチールウールNo.000番(極細) ・スポンジ等 ※40分を超える長時間の漬け置きは、素材を傷める恐れがあります。
			汚れが軽い場合 原液～5倍	0分～10分	・スポンジ等 ※軽度な汚れは、漬け置きしなくても落ちます。 周辺の床面が塩ビシートの場合垂らすと跡になる恐れがあります。直ぐに水拭きで拭き取って下さい。
2	トイレや玄関周りの 磁器タイルの洗浄		汚れが酷い場合 原液	10分～30分	・ポリッシャーでブラシ洗浄 ※酸性の為、目地を傷める恐れがある為、洗浄後は、丁寧に水で流して下さい。
			汚れが軽い場合 原液～5倍	0分～10分	・ポリッシャーでブラシ洗浄 ※酸性の為、目地を傷める恐れがある為、洗浄後は、丁寧に水で流して下さい。
3	和式便器の洗浄		原液～10倍	0分～1時間以上	・スポンジ等 ※汚れの程度に応じて漬け置き時間を変えてください。尿石がある場合は、長時間漬け置きして下さい。トイレ等の床面が塩ビシートの場合洗剤が付着すると跡になりますので直ぐに水拭きで拭き取るか洗い流して下さい。
4	マンションの エンボスタイルの 洗浄		汚れが酷い場合 5倍～10倍	1分～5分	・ポリッシャーでブラシ洗浄後、丁寧に水で流す。 ※希釈倍率が低いと粘度がある為、塗りにくくなり、また、素材を傷める恐れがあります。 長時間の漬け置きは材質を傷める危険があります。
			汚れが軽い場合 10倍～20倍	漬け置きする必要なし	・ポリッシャーでブラシ洗浄後、丁寧に水で流す。 ※側溝部のコンクリートも洗剤が付着した部分は、綺麗になってしまう為、注意が必要です。
5	蛇口の洗浄		汚れが酷い場合 原液	5分～10分	・スポンジ等 ※青サビも綺麗に落ちます。
			汚れが軽い場合 原液～5倍	0分～5分	・スポンジ等 ※軽度な汚れは、塗るだけで直ぐに落ちます。
6	鏡の洗浄		ウロコ汚れが 多い場合 原液	20分～1時間以上	・スポンジ・ダイヤモンドバット ※長時間の漬け置きが可能です。ダイヤモンドバット等と併用すると更に効率よく落とせます。
			ウロコ汚れが 少ない場合 原液～2倍	0分～20分	・スポンジ・ダイヤモンドバット ※石鹸カス等の汚れは漬け置きしなくても直ぐに落とせます。
7	浴槽の洗浄	※ステンレス製はシンク洗浄と同じですが、FRPの場合は、長時間漬け置きと変色したり艶が落ちたりする恐れがあります。5分以上の漬け置きは避けて下さい。	原液～3倍	0分～20分 (FRPは、5分以内)	・スポンジ等 ※ユニットバスの中には、浴槽だけでなく壁面や床面等もFRP素材の物が有るのでご注意下さい。 素材が不明の場合は、3倍以上に希釈して下さい。
8	苔(コケ)の洗浄	※ベランダや建物周辺のコンクリート面等のコケ等の汚れも良く落とせます。素材を傷める恐れがある為、早めに多量の水で洗い流して下さい。	5倍～20倍	0分～10分	※ポリッシャーでブラシ洗浄または、デッキブラシでこすり洗い後、必ず水で洗い流して下さい。
9	その他ご使用に 注意が必要な素材	・FRP素材・コンクリート・プラスチック類・石材関係・アルミ素材・エンボスシート(タイル)等は必ずテストしてからご使用下さい。 ※アルミ素材は、汚れは良く落ちますが、1分～2分で腐食も始まります。漬け置き時間に注意して作業して下さい。			
10	使用不可の素材	・大理石全般(石材の鏡面仕上げ)は、艶が無くなります。塩ビシートは種類によっては、跡やシミになる場合があります。ペンキ等の塗装面は、使用不可。			

※漬け置き時間と希釈倍率は現場や素材の状況と汚れの程度に応じて変えて下さい。ご使用前に必ず目立たない所でテストしてからご使用下さい。
増粘タイプですので壁面に塗布した場合は、その場で滞留しますので長時間の漬け置きが可能です。(希釈した場合は、粘度が落ち不向きです。)
酸性洗剤の為、塩素系洗剤とは、絶対に混ぜて使用しないで下さい。有害な塩素ガスが発生します。また、アルカリ性洗剤とも混ぜて使用しないで下さい。
ご使用の際は、ゴム手袋を着用して下さい。
ここに明記された以外の詳細事項は、「製品安全データシート」(MSDS)をお読み下さい。

